

第1回藤沢市図書館協議会書面会議結果

1 意見提出期限 2021年（令和3年）5月28日（金）

2 意見提出方法 電子メール

3 各委員からの意見

【藤平委員】

(1) 市議会について、(2) 運営目標

拝見いたしました。意見、質問はございません。

(3) ふじさわ子ども読書プラン2025について

子ども読書活動推進計画の冊子は、年代別の子どもたちの読書の「今」がよくわかったり、市や学校、そして家庭が取り組んでいることや取り組むべきことがわかったりと、大変充実した内容となっていると思いました。

第4次計画で新たに加わった「子ども同士で本を薦め合う」という事業はとても良いと思いました。「子ども同士、または子どもから大人へ本の情報を発信する機会を提供する」とのことでしたので、どのようなものになるのだろうと興味を持ちました。

(4) 令和3年度雑誌スポンサーについて

資料に「スポンサー企業から広告の効果がないという意見があった」とありましたが、この「広告の効果」というのは集客や売り上げに対しての目立った効果という意味でしょうか。

個人的には、「水族館」がスポンサーになっている雑誌を借りたとき、「この水族館は地域社会に貢献している」という認識・好感を持ちました。借りた方々に対して、集客や売り上げではない「プライスレスな効果」は恐らく望めているのではないかと思います。

このことから、例えば、社会貢献やCSRに特に力を入れている企業や団体に声をかけ、利益とは違う、人の心に訴えかけるような効果が望めることを強調することで、より多くのスポンサーを獲得できるかもしれないと考えました。

南図書館で見てみたところ、『きょうの健康』という雑誌のスポンサーは病院…のように、雑誌の内容にマッチした企業がスポンサーについているようですので、貸し出し・閲覧回数の多い雑誌を調べ、その雑誌の内容にマッチしている企業を捜し、スポンサー依頼をするのも一案かと思いました。以上、資料に対する意見とは違うかもしれませんがご参考まで。

(5) 2月から4月までの事業報告

辻堂市民図書館の「春のおはなし会」は野外で行われていて、このコロナの時期、とてもいい試みだと思いました。このように、気持ちのすがすがしくなる行事を期待しま

す。

(6) その他

イ 「わが住む里 第70号」の発行について

「わが住む里」を初めて知りました。内容が面白く、熟読しました。この冊子の存在を知らない人も多いのではないのでしょうか。もっと認知度が上がったら良いと思いました。

【事務局】

(4) 雑誌スポンサーについて

雑誌スポンサーについては、ご指摘のとおりいわゆる売り上げや集客の効果だけではなく、地域貢献という企業のイメージアップにつながるという効果があると認識しております。企業等へ募集をかける際には、その点についても説明をし、ご理解いただいたうえでご協力いただいている企業もあると考えています。一方で、広告の効果を求める企業もあることから、今回、運用を変更したことで、これまでより宣伝効果は上がったのではないかと期待しているところです。

雑誌の選択については、企業によっては業種に関連した内容の雑誌を選ぶ場合もございますし、読まれる年齢層や年間の購入金額で選ばれる場合もあります。企業等へ訪問した際には、業種にあった内容の雑誌があるかどうかは確認し、あった場合にはその雑誌をお勧めするなど工夫しているところです。

令和3年度当初については、すでに昨年度よりスポンサーの数は増えておりますが、市の財政状況については依然厳しい状況となっており、1社でも多くのスポンサーを獲得することが、図書館の資料充実を図るための1つの取り組みと考えておりますので、趣旨をご理解いただき1社でも多くのスポンサーを獲得できるよう、引き続き対応してまいります。

(6) その他

イ 「わが住む里 第70号」の発行について

「わが住む里」は藤沢市に関する歴史・郷土研究などの発表の場として、多くの方にご参加いただいております。最新刊及び一部のバックナンバーについては、市民相談情報課や文書館、藤沢市書店組合加入書店において有償刊行物として1冊500円で購入可能となっております。

また、今年度以降の発行については、より多くの方に手に取っていただけるよう、装丁などを簡略化することで無償提供できるように準備を進めております。

引き続き、藤沢市の郷土史研究等の啓発と普及を図ってまいります。

【富田委員】

(3) ふじさわ子ども読書プラン 2025 について

ふじさわ子ども読書プラン 2025 について、様々な取り組みがありましたが、おはなし会について、総合図書館では開催されていますが、新型コロナウイルスで中止になってしまった他の図書館・図書室でのおはなし会は再開されているのでしょうか。私の利用していた長後ではまだ再開されていないのですが、まだ再開されていないところは、再開の見込みはあるのでしょうか。もしくは、感染対策上難しいようであれば、今までとは違う方法を検討されていたりはするのでしょうか。

おはなし会だけでなく、講座など人の集まる催しや、人の行き来があるものなど、新型コロナウイルスで今までのようにできなくなった取り組みはいろいろあると思います。なかなか新型コロナウイルスの終わりが見えない状況で、影響が出てしまったものについて、今後どのように進めていくのか、また、コロナ禍では取り組みづらくなってしまったものなどがあれば、大卒で構わないので教えていただけますでしょうか。

また、学校図書館についてもいろいろな取り組みがありましたが、我が子を通わせている小学校に限ることなのかもしれませんが、学校の読書に対する取り組みや、図書室の様子など、子どもに聞かない限りあまり保護者に伝わってきていません（おたよりなどありません）。今回、ふじさわ子ども読書プラン 2025 に接して、地域の図書館、図書室もいいですが、子どもにとって一番身近な学校の図書室について、保護者ももっと知りたいという気持ちが大きくなりました。こういう場合は直接学校にお願いすればよいのでしょうか。

【事務局】

(3) ふじさわ子ども読書プラン 2025 について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、昨年度はおはなし会などの事業の多くが中止や延期を余儀なくされました。その後、感染拡大防止策における制限の緩和などを受けて、可能な事業から再開を図っております。

おはなし会については、「定員を半数にする」、「事前予約や当日受付により参加者を把握する」、「参加者の間隔を確保する」、「手指消毒やマスク着用等の咳エチケットの徹底」などの対策を行ったうえで、ボランティアの協力や公民館等の会場確保ができたところから順次再開しております。

講座の開催等についても同様の対策をとるとともに、内容や参加者に応じて、オンラインでの開催についても検討を進めており、すでにオンラインによる講座開催が2事業、今後予定しているものが1事業あります。

学校図書室に関しては、所管が教育指導課になるため、総合市民図書館では個別の状況について把握しておりませんが、「ふじさわ子ども読書プラン 2025」に基づ

き、子どもたちにとって身近な学校図書室とも連携しながら、保護者の方への情報提供や読書活動への理解を深める取り組みについても努めてまいります。

【中田委員】

(2) 令和3年度図書館の運営目標について

様々な方面に目を配りそれぞれの目標を持たれていて素晴らしいと思います。すべての目標に具体的な事業があると考えますが。特に今年度注力していこうと考えている事業は何でしょうか？

(3) ふじさわ子ども読書プラン2025について

本当に立派な計画だと思います。新たな施策も盛り込み充実したものになっていると思います。また冊子そのものを見るだけで意気込みが伝わってきます。私の所属する市の場合、委員各位はそれこそ一生懸命検討しプランを作成しますが、庁内印刷で作成され、本当に市の計画なのか！他部局、いや委員会内でさえちゃんと認知されているのか、と思わず疑いたくなるような粗末な仕上がりです。

(4) 令和3年度雑誌スポンサーについて

近年各自治体では全市的な取組みとして、「収入」を考える必要がある訳ですが、なかなか各図書館においては実績があげられていないと思います。藤沢の場合はこの雑誌スポンサーで最盛時100万を超える額を得、年々減少するも制度の改善により増加に転じたとのこと、素晴らしいと思います。

スポンサー一覧を見ると多種多様な業種のスポンサーが並んでおり、中にはその業者がどういう雑誌のスポンサーになっているか見当がつかないものもあります。差し支えなければ各社の支援する雑誌名をお教えてください。

(5) 2月から4月までの事業報告について

コロナ禍においても各館各コーナーで、様々な展示・行事を実施されていること、頭が下がります。

(6) その他

ア 新型コロナウイルス感染症対策について

当館ではマスク着用をお願いにキレル利用者の方がいらっしゃいます。また反対にマスクをしていない利用者に対して注意しろ！という方もいらっしゃいます。同様な事が発生していると思いますが、貴館での対応をお教えてください。

イ 「わが住む里 第70号」の発行について

第70号発行おめでとうございます。郷土研究に資する上で非常に貴重、有意義な事業であると思います。是非今後とも発行されていかれることを希望します。

2 その他情報提供

鎌倉市中央図書館の建物は、昭和49年10月の開館のため築47年経っており、今年度耐震工事を予定しています。恐らく9月頃から来年2月頃まで、全面休館と一

部休館をする時期がある予定です。(時期詳細未定)

いろいろご迷惑をおかけすると思いますが、宜しくお願い致します。

【事務局】

(2) 令和3年度図書館の運営目標について

令和3年度図書館の運営目標の中でも特に注力していくべき事業については、11市民図書室のネットワーク化や電子書籍の導入についてです。

本市では、現在4市民図書館においては図書館システムを導入し、インターネットで在庫検索や予約が行えますが、11市民図書室が所蔵する資料については、インターネットで蔵書検索はできますが、在庫確認や予約はできない状況となっています。これまでも図書室への図書館システムの導入については検討してきましたが、業務手順や費用面等に課題があったことから現時点では導入には至っておりません。

しかしながら、国が掲げる「デジタルガバメント実行計画」においては、「地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続き」の一つとして、「図書館の図書貸出予約等」が掲げられており、本市でも「藤沢市市政運営の総合指針2024」において、一人ひとりのライフサイクル、ライフスタイルに合わせて図書館を利用できる「ICT環境の整備」が課題となっていることから、図書室のオンライン化や電子図書の導入など、ICTを活用した図書館サービスの充実を図るものです。

(3) ふじさわ子ども読書プラン2025について

本計画については、公募委員のほか、学識経験者や社会教育・学校教育・幼児教育・子どもの読書活動推進の各関係者、庁内関係課など、委員皆様のご尽力のもと策定に至りました。

今後は本計画に基づき、関係団体や関係各課とも連携を図りながら、子ども読書活動の推進を図ってまいります。

(4) 令和3年度雑誌スポンサーについて

各社がスポンサーとなっている雑誌については、別紙「雑誌スポンサー一覧」のとおりです。

(6) その他

ア 新型コロナウイルス感染症対策について

本市においては、図書館・図書室に限らず、公共施設における「マスク着用等の咳エチケットへの協力」のお願いとともに、「マスクが着用できない方等への配慮」についてもあわせて掲示等により周知を図っております。

図書館・図書室において、利用者からのご意見をいただいた場合、上記内容についてご理解いただくよう説明するとともに、各館の状況に応じて、職員等がフロアを巡回し、マスクを着用していない方へお声掛けをする等の対応を行っています。

【長谷川委員長】

(6) その他

2点意見を述べさせていただきます。

1) 電子図書の導入について

電子図書の利用状況についての報告が、以下の通り2つあります。運営目標や、実際の利用動向を勘案した導入の検討を期待します。

ベネッセの読書アンケートによれば、「地域の図書館の本をほとんど読まない」は60%、「まなびライブラリーの本」をほとんど読まない」は9%と、子供向けに厳選された電子書籍のほうを読むことが分かります。【出典：ベネッセ教育総合研究所「読書履歴を活用したデータ分析」

<https://berd.benesse.jp/special/bigdata/ebookanalysis.php>

資料：「読書アンケート 2020」基礎集計表，資料：「読書アンケート」基礎集計表】

電子図書館導入サービスで大きなシェアを持つ TRC-DL, LibrariE のユーザー26 自治体の利用状況調査では、令和元年度の貸出回数は、人口195 万人の自治体で 51,712 回、56 万人では 15,200 回、27 万人では 1,087 回と 3,154 回と、通常の本の貸出回数と比較して多くないことが分かります。【出典：吉井潤_公立図書館における電子図書館(電子書籍貸出)サービスのコンテンツと利用に関する現状調査掲載誌

日本図書館情報学会春季研究集会発表論文集 2020 年度 p.5-8

[https://jslis.jp/wp-](https://jslis.jp/wp-content/uploads/2020/07/a671d1d65df2935b7dda913b21119cc5.pdf)

[content/uploads/2020/07/a671d1d65df2935b7dda913b21119cc5.pdf](https://jslis.jp/wp-content/uploads/2020/07/a671d1d65df2935b7dda913b21119cc5.pdf)】

2) 協議会の開催方式について他

開催方式は、図書館会議室でのオンサイトと、Zoom などによる自宅や職場からの Web 参加、2つを組み合わせた開催を検討されるよう希望します。アフターコロナと自治体の DX 化に対応した整備が必要と考えます。また、Wi-Fi 提供などの図書館における ICT 化の整備、住民への ICT 環境を整えるサポートの実施も考慮されるべきでしょう。

【事務局】

1 点目について

電子図書サービスについては、本市において来年度の導入に向けた検討を進めているところです。委員ご指摘の通り、他のアンケート調査結果等においても、利用者の年齢層やコンテンツのジャンル等に紙の図書とは異なる傾向があるとされています。また、すでに導入済みの近隣自治体への聞き取りにおいても、登録者数や貸出数が想定よりも伸び悩むケースなどがあると聞いております。

そのような状況を踏まえて、電子図書サービスの導入にあたっては、ターゲットとする利用者像の整理やターゲットに合わせたコンテンツの選定、紙の図書資料との役割分

担などが大きな課題と捉えております。

2点目について

コロナ禍において、本市においても zoom を利用したオンラインでの会議開催などが徐々に定着しつつあるところかと認識しております。本協議会についても、次回開催までに委員皆様の環境を確認させていただいたうえで、オンサイトとオンラインの会議開催について、柔軟に対応していきたいと考えております。

また、電子図書サービスの導入検討に合わせて、藤沢市図書館内に利用者向けの wi-fi 環境の整備も検討しております。

本市における DX 推進にあわせて、図書館における ICT 環境の整備等についても引き続き検討を進めてまいります。

以上